

● 「ながら美容」、「寝ながらエステ」がトレンド

最近、よく家電不況という言葉を目にします。テレビや洗濯機、冷蔵庫のような誰もが欲しくなる家電が既に行きあたり、買い替え需要しか望めなくなったからです。そこに期待の星が生まれました。女性をターゲットにした美容家電というジャンルです。

もちろん、以前から女性の美容のための家電はありました。ヘアドライヤーやヘアーアイロン、女性用シェーバーなどがその例です。しかし、最近話題の「美容家電」はイオンを主役にした製品が主流です。その先鞭をつけたものが「寝ながらエステ」というコピーで話題になった「ナイトスチーマー」(図6-5-1)でしょう。2008年に発売され、人気を博しました。以来、美容家電という分野が確立され、様々な製品が発売されています。机のわきに置いて仕事をしながらスキンケアができる

図6-5-1 パナソニック製
「ナイトスチーマー」



図6-5-2 代表的な美容家電



パナソニック製
「スチーマーナノケア」



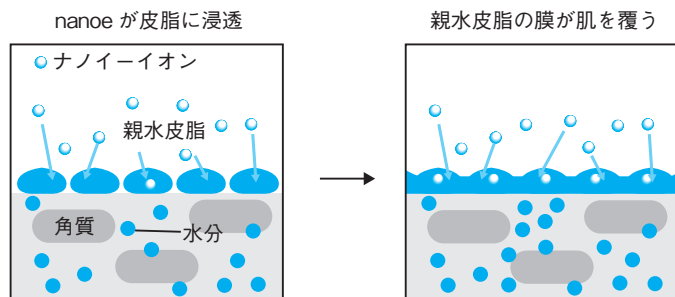
シャープ製
「デスクトップモイスチャー」



日立製
「イオンクレンジング」

図6-5-3 ナノイーイオンを利用した「スチーマーナノケア」のスキンケアの仕組み

ナノイーイオン（※1-5）が皮膚の表面の皮脂と反応し親水化する。親水化された皮脂は外部の水分を取り込みやすくなり、また内部の水分を保湿クリームのように保持するようになる。こうして、潤いのある肌が「寝ながら」得られる。



「ながら美容」製品まで登場しています。

●「寝ながらエステ」の仕組み

「寝ながらエステ」を謳うパナソニックのスチーマーの仕組みを調べてみましょう。プラスに帯電した肌や髪にマイナスのイオンを吹きかければ、電気は中和され、肌のぱさぱさ感や髪のパサつきは収まります。また、イオン作成技術の向上で、吹き付けるイオンに水分子がまとい付けられています。その水分子を乾燥した髪や肌に吸着させることで、髪はサラサラ、肌はシットリと美しく輝きます。さらに、イオンの効果で皮膚の表面の皮脂は親水化し保湿剤のように働き始めます。これらの効果を利用したのが、イオンを用いた美容家電の基本技術なのです。

●購入時のチェックポイント

近年、イオン系の美容家電に加えて、超音波系も人気です。このように、様々な美容家電が発売されていますが、一部には効果が疑われているものもあります。美容の世界は個人によって考え方も効き方も異なるのです。そこで、購入時の一般的なチェックポイントは無いというべきでしょう。最低限の選ぶポイントは「どんな肌の悩みを解消したいか？」を確認し、カタログでそれに合致した製品を選ぶことです。また、どれくらいの手間がかかるのかも確認しておきましょう。効果の有無は使ってみないとわかりません。